

# CASBEE® 広島

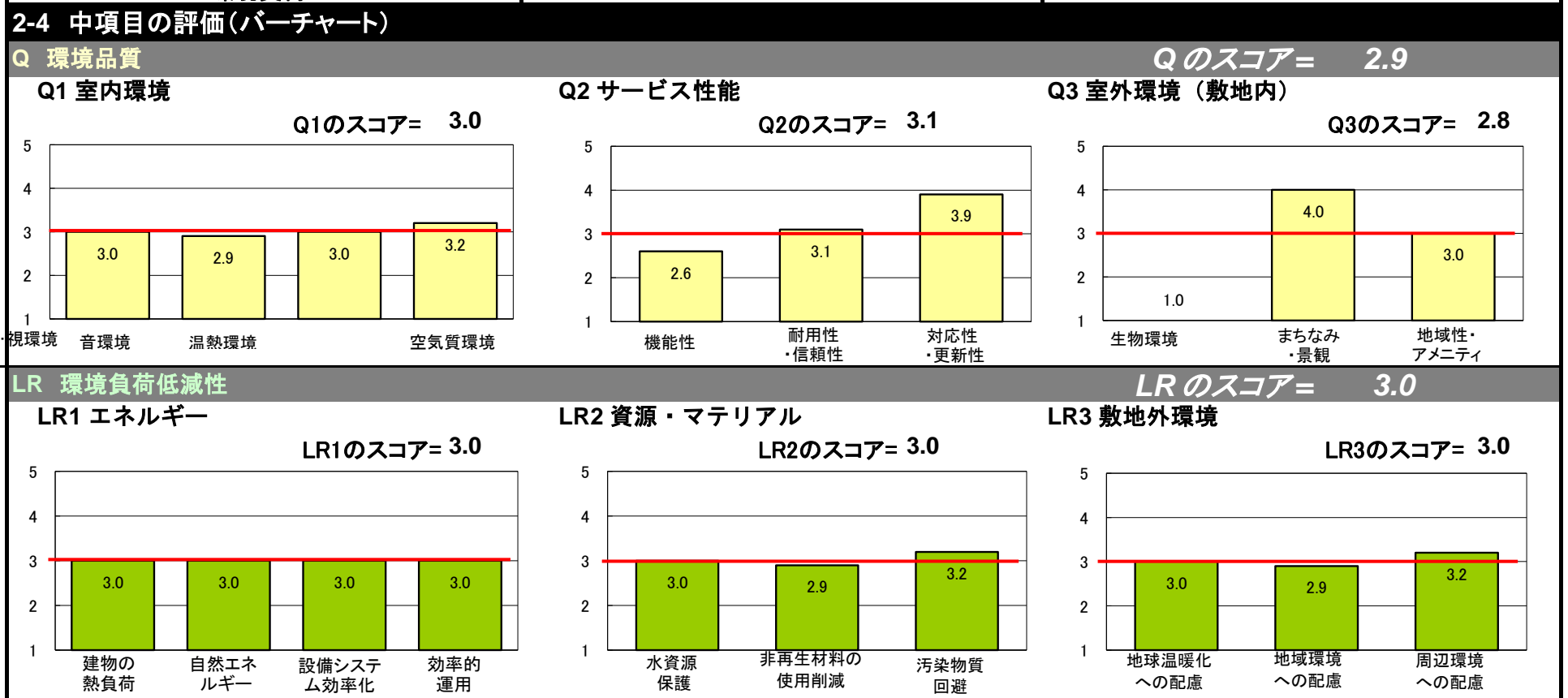
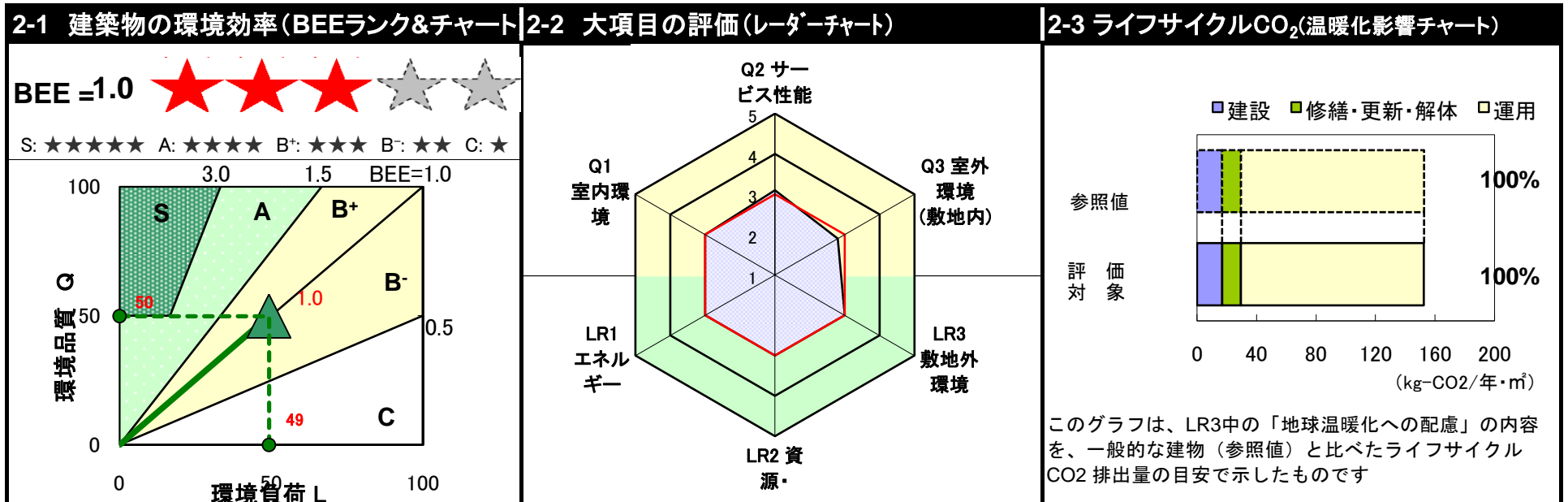
(2010年ver.1)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb\_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	Audi Hiroshima	階数	地上5F
建設地	広島市西区観音町15番17,18,19,31,32	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	50人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	3,720時間/年
建物用途	物販店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年6月 予定	評価の実施日	2012年9月1日
敷地面積	1,117 m <sup>2</sup>	作成者	道工真衣
建築面積	852 m <sup>2</sup>	確認日	2012年9月1日
延床面積	4,086 m <sup>2</sup>	確認者	山崎正仁



### 3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 2.8

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.0	スコア = 1.8	スコア = 3.2
<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> 建物外皮全体に渡って断熱材を使用。//////可能な限りのCO <sub>2</sub> の排出を削減する。	<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> 広島市緑化推進制度の緑化率を確保。/ 付置義務台数の3.5倍の駐車場を確保し、路上駐車を予防した。	<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> 主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用 / 空調器を個別空調方式とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される